長崎高教組
定通部だより
2020年8月1日
第1号
発行責任者　烏山 隆弘

ホームページ　http://nagasaki-kokyoso.org
メールアドレス　info@nagasaki-kokyoso.org

第31回 定通部定期大会

◆日　　時　2020年7月18日（土）14:00～15:30
◆会　　場　長崎高教組会館
◆出 席 者　12名（７分会、委任状５分会）
◆議　事　（詳細は議案書でご確認ください）

・第１号議案　2019年度決算承認に関する件
・第２号議案　2020年度役員承認に関する件

2020年度 定通部役員

部 長	濱本　功二　（佐世保中央夜間） *全教定通部長兼務	副部長	井坂　美緒（鳴滝通信） 烏山　隆弘（鳴滝夜間）

・第３号議案　2020年度方針決定に関する件

１　経過報告･とりくみ総括

担当者が活動内容や感想等を還流報告し、出席者の情報共有の場になりました。また、コロナ禍の影響で活動が制約を受ける中、全教関係の会議はオンラインで進められていることも報告されました。

２　全体の情勢

多忙化を解消して、ゆとりある学校づくりが重要であると提案されました。

３　活動方針

次年度の定通部県教委交渉（2年に1回）の内容について討議。前回の交渉内容を基にした下記13項目。特に、(1)エンカレッジコースについては最重点項目として交渉することが確認されました。

次年度(2021年)県教委交渉の柱

(1) エンカレッジコース佐世保中央夜間での廃止。やむを得ず継続の場合は別課程の設置。鳴滝夜間への導入反対。
(2) 機械的な統廃合反対　(3) 日本語を母語としない生徒のための日本語教師を定数外配置
(4) スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー全校配置　(5) キャリアサポートスタッフ継続配置
(6) 教科書・夜食費補助継続と手続き簡略化　(7) 入学準備金等、給付型奨学金の充実
(8) 授業料無償化、就学支援金手続き簡略化　(9) 20人以下学級
~~(10) 定時制入学願書受付を勤務時間に~~ ⇦ **要求実現（次年度入試より施行）**
(11) 社会人自己推薦制度、職場所属長推薦制度　(12) 離島の通信制生徒に交通費・宿泊費の補助
(13) 修学奨励資金返還免除「卒業まで」を１年単位に引き下げ
(14) エアコン設備のない定時制高校へ県費でエアコン設置

・第４号議案　2020年度予算に関する件
・第５号議案　その他

５つの議案は、拍手で承認されました。

県教研 定通教育分科会

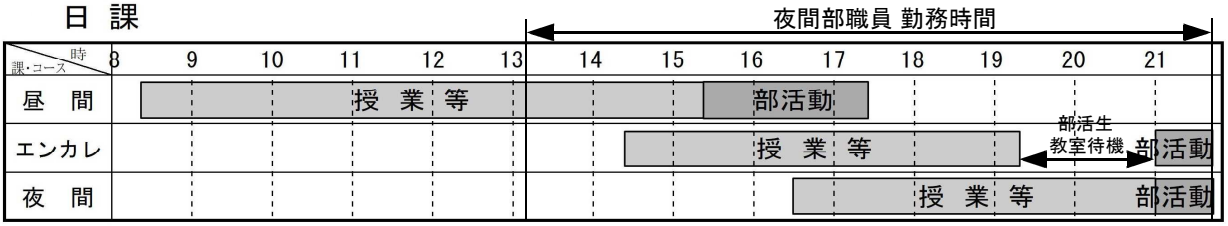
◆日　　時　2020年7月18日（土）15:45～17:30
◆会　　場　長崎高教組会館
◆参 加 者　11名

今回の教研の主眼は、３年目の完成年度を迎える佐世保中央高校夜間部エンカレッジコースの制度や現状について学習を深め、問題点等を討議し整理することです。計３本のレポートが報告され、情報共有と学習交流の場となりました。

レポート報告＆質疑応答

１ 多部制定時制高校の現実と問題点 （佐世保中央夜間部　濱本さん）

(1) エンカレッジコースについて



佐世保中央高校夜間部では、複雑な教育制度５項目に加え、エンカレッジコース設置により、職場の多忙化が一層進んでいます。ますます浮き彫りになる多くの問題点が報告されました。内容は、教職員の多忙化や生徒指導の困難化に分類されるもの、エンカレッジコースの生徒が受ける不利益、エンカレッジコース設置によって学級減となった昼間部への大きな副作用等。その多くは、時間と空間の物理的問題によるものです。さらに、教職員多忙化は、夜間部・エンカレッジ両コースの生徒にも結果的に不利益をもたらします。これは、ゆとりのある学校づくりを提唱した定期大会の趣旨にも反します。

時 程

勤務時間	13:15 ～ 21:45
休憩時間	16:15 ～ 17:00

エンカレッジコース	１校時	(45分)	○14:25 ～ ×15:10	夜間コース
	２校時	(45分)	×15:20 ～ ○16:05	
	掃 除	(10分)	○16:05 ～ ×16:15	
	給 食	(50分)	○16:30 ～ ○17:20	
	ＳＨＲ	(10分)	○17:25 ～ ○17:35	
	３校時	(45分)	○17:40 ～ ○18:25	
	４校時	(45分)	○18:30 ～ ○19:15	
	５校時	(45分)	○19:20 ～ ○20:05	
	６校時	(45分)	○20:10 ～ ○20:55	
	掃除・SHR	(5分)	○20:55 ～ ×21:00	
	部活動	(45分)	～ ×21:45	

○チャイム有　×チャイム無
夜間とエンカレッジの両コース間で授業相互乗り入れはできない。

多忙化や問題点の感覚的な部分について、今後、職場の意見をさらに集約する形で具体的に数値化・可視化した上で、昼間部・通信制を含めた学校全体の問題としてさらに精査する必要があります。

(2) 問題点

No.	分類		問題点
1	時間	職員	① 共通行事（球技大会や講演会等）は３～４校時のみにしか実施できず、時間的制約が大きい。 ② 勤務時間の大部分において生徒が学校いる状態。職員が精神的にゆとりを持てない。 ③ 会議の時間を確保できない。生徒の問題行動増 → 職員会議急増。学年会を確保できない。 ④ 休憩時間と給食指導時間が重複。休憩時間を確保できない。 ⑤ 定通併修制度が職員に過剰な負担を負わせている。（授業プリント、レポート作成、採点等 **夜間部職員担当**）
2		生徒	⑥ エンカレの部活生は４校時終了後 19:15 ～ 21:00 まで教室待機。 ⑦ 授業時間が中途半端で、エンカレ生徒はアルバイトしにくい。結果、教科書補助も受けられない。 ⑧ エンカレ・夜間合同の生徒会活動の時間を確保できない。
3	空間		⑨ 他課程（昼間部・通信制）との施設の使い分けや調整が困難。（教室、体育館、グラウンド等）
4	複雑な教育制度		⑩ 多忙が常態化し、職員が制度や事例、行事等に振り回されている。じっくり生徒と向き合う定時制教育の長所が失われている。
5	指導の困難性		⑪ 志願倍率１倍超の昼間部が１クラス減。その定員分がエンカレ入学。生徒の問題行動激増。

３課程を想定した学校に４課程を押し込んでいる現状。物理的な（時間＆空間）無理が原因で、複合的に職員・生徒に負担が発生するのは当然だと思います。

(3) 複雑な教育制度　(①・②は、４年間の学習内容を半ば強引に３年間で修了することを目的に設定された制度)

① 定通併修（22単位：普通科の場合）

年次	実施時間帯	授業時数	実施科目(ローテーション)	評価(レポート提出)	修得単位数	授業頻度
１年次	(火)4	前･後期各５	国・英・数	前･後期各３回	各2単位×3科目＝ **６単位**	**週１時間**
２年次	(火)4	前･後期各５	国・数・世	前･後期各３回	各2単位×3科目＝ **６単位**	**週１時間**
３年次	(火)4＋(木)6	前･後期各５	地・日・数・生・英	前･後期各３回	各2単位×5科目＝ **10単位**	**週２時間**
３年間計					**22単位**	**週４時間**

- **夜間部科目５３単位＋併修科目２２単位＝７５単位（７４単位以上で卒業可）**
- 生徒は基本的に３年で卒業。**単位を修得できなかった生徒は、次年度通信制授業を受講。**
- 出席条件：前･後期各2/3以上。欠課時数２時間で1/3超。不足分は補講(上限:２時間/年)。
- レポート提出：指定日時までに提出＆合格点できない場合、失格。
- ２２単位分を定通併修という形で修得するので、十分な学力が身につかない。結果的に、生徒の学習権を剥奪することになるのではではないか？

② 通信制授業による単位修得

夜間部科目または定通併修科目の単位を修得できなかった生徒は、次年度、通信制の授業を受講し単位を修得することができる。担任と通信制教員との連携が必要。通信制教員が丁寧に連絡してくれるが、授業やレポート作成について行けず途中で挫折するケースも多い。

③ 学び直し

期　　間		１年次４月～２年次９月（～2019年度）　／　１年次のみ（2020年度～）
実 施 科 目		国語、算数・数学
実 施 回 数		７回（１年次のみ）
昇級テスト	形態	週終わりの総合的な学習の時間に実施。合格すると進級。試験監督は学級担任。
	内容	小学３年レベル国語＆算数 から 中学３年レベルまで

④ 通級授業

課　程	夜間部（2018年度～）		昼間部（2014年度～）
時間設定	始業前または放課後（本人の希望によりどちらか選択）		選択授業
対 象 者	発達障害(AD、LDHD 等)の生徒		
受講方法	１年次	受講した方がよいと思われる生徒のリスト作成と検討。本人と保護者の意向を確認して受講決定	
	２年次	授業開始（現在３名受講）	

⑤ 特別支援教育研修会（2018年度～）

「通級担当教員」が講師になり、月１回実施。今年度転入教員も受講。

(4) 教職員の労働条件を改善し、働きやすい職場をつくるためのアンケート　報告

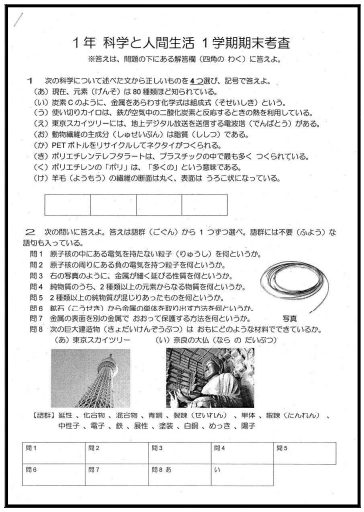
職場の意見を集約し、働きやすい職場づくりのための取り組みが報告されました。(13名分集約)

No.	分類	意　見　等
1	**職員負担軽減**	①休憩時間と給食指導時間の重複。振り替え措置を。(2名) ②定時制高校の定員の配慮。エンカレ生徒１クラス(34名)を職員3名対応しているが、支障が発生。 ③クラスの業務以外にも分担が多い。コロナ対応もあり、30人学級の実現を。 ④コロナ対応で業務負担増。サポートスタッフ増を。学習オンライン化も学校格差が発生している。 ⑤教員定数増。支援を要する生徒が多く、40人学級はかなり厳しい。エンカレ・夜間両コースの担当は大変。
2	**学習環境整備**	⑥エンカレ生徒の部活動待ち時間解消を。無駄な業務が多く、生徒に負担。 ⑦エアコン使用期間外の高・低温時にストーブ・扇風機の使用。湿気がひどい床の安全対策を。 ⑧3課程あるが、医薬品予算は1校分しかない。消毒液、非接触タイプ体温計等、県教委の責任で必要物品を必要数充足させること。→ 最優先してほしい。
3	**学校運営**	⑨臨時休校の態度決定が遅い。大雨の中、生徒が登校した。安全を考慮していない。(2名) ⑩目標管理シート廃止してほしい。職員・管理職の負担の割に必要性や効果を感じない。(2名)

２ 鳴滝高校定時制昼間部における定期考査の作成 （鳴滝昼間部　平湯さん）

鳴滝高校昼間部では定期考査を次の書式（形式）で作成することが推奨されている。

① フォント：HG 丸ゴシックM-PRO（日本語）、Arial（英数字）、
② サイズ：12pt 、③ 用紙：A3 、④ 問題文と解答欄を同じ用紙にする



１年 科学と人間生活 １学期期末考査

※答えは、問題の下にある解答欄（四角の わく）に答えよ。

１　次の科学について述べた文から正しいものを４つ選び、記号で答えよ。
（あ）現在、元素（げんそ）は 80 種類ほど知られている。
（い）炭素 C のように、金属をあらわす化学式は組成式（そせいしき）という。
（う）使い切りカイロは、鉄が空気中の二酸化炭素と反応するときの熱を利用している。
（え）東京スカイツリーには、地上デジタル放送を送信する電波塔（でんぱとう）がある。
（お）動物繊維の主成分（しゅせいぶん）は脂質（ししつ）である。
（か）PET ボトルをリサイクルしてネクタイがつくられる。
（き）ポリエチレンテレフタラートは、プラスチックの中で最も多く つくられている。
（く）ポリエチレンの「ポリ」は、「多くの」という意味である。
（け）羊毛（ようもう）の繊維の断面は丸く、表面は うろこ状になっている。

２　次の問いに答えよ。答えは語群（ごぐん）から１つずつ選べ。語群には不要（ふよう）な語句も入っている。
問１　原子核の中にある電気を持たない粒子（りゅうし）を何というか。
問２　原子核の周りにある負の電気を持つ粒子を何というか。
問３　石の写真のように、金属が雑く延びる性質を何というか。
問４　純物質のうち、２種類以上の元素からなる物質を何というか。
問５　２種類以上の純物質が混じりあったものを何というか。
問６　鉱石（こうせき）から金属の単体を取り出す方法を何というか。
問７　金属の表面を別の金属で おおって保護する方法を何というか。
問８　次の巨大建造物（きょだいけんぞうぶつ）は おもにどのような材料でできているか。
（あ）東京スカイツリー　（い）奈良の大仏（なら の だいぶつ）

写真

【語群】鉱性 、化石物 、混合物 、青銅 、製錬（せいれん） 、単体 、振錬（たんれん） 、中性子 、電子 、鉄 、鋼性 、塗装 、白銅 、めっき 、陽子

問１	問２	問３	問４	問５
問６	問７	問８ あ	い	

ユニバーサルデザインを基にした書式指定のメリット・デメリットを検証し、各校の取り組みを以下の点について情報交換。

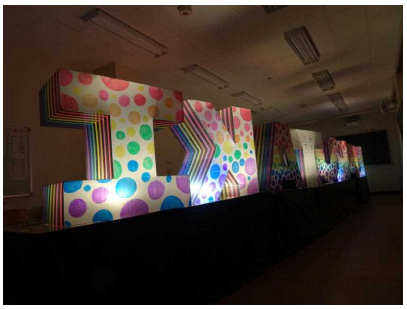
① 書式が決まって（推奨されて）いるか？
② この書式は見やすいのか？
③ 将来の進路や資格試験を考えると この書式でいいのか？

① …状況は、各校によって様々。「決まっている」から「ない」、「以前決まっていたが、今は緩やかになっている」

③ …問題文と解答欄が同一用紙やふりがな等の取り組みも報告された一方、「就職試験以降もこのような配慮が提供してもらえるとは限らない」高校時代を練習期間と位置づけ、あえて別紙にする取り組みも報告されました。

高齢生徒や通級生徒の実践例紹介他、「同じクラス内でも差をつけている」「生徒１人1人に応じた対応が大切ではないか」等の意見が出ました。

３ 文化祭クラスの取り組み ～光のオブジェ 錦の部屋～ （鳴滝夜間部　烏山）



編集後記

昨年度は、参加者５名でこぢんまりとした大会と教研でした。学びの多い会でしたが、やはり参加者が多い方が活気あふれていいなと思います。コロナへの対応等、集まりにくい状況の中、本当にありがとうございました。各分会からの報告で印象的だったことを紹介します。

① 「SSW 室が新設され、生徒の居場所づくりのための取り組みがしやすくなった」

② 「通信制協力校の生徒が病気等で欠席すると本校への登校が必要になる。離島からの往復交通・宿泊費は、約３万円。『高校がない離島から高校に進学している生徒には、通学費を補助する事業があり、該当する生徒は通信制でも対象としている』と県教委は言うが、実態は高校がある離島の生徒がほとんど。昨年担当した協力校生徒10名のうち半数以上が経済的理由で学ぶことを諦めざるを得なかった。生まれた場所によって学びやすさに格差が発生している」

③ 「工業高校の教科書は専門書が多く、作業着や安全靴等、入学時の納金が高額である。入学時にこそ給付金が必要ではないか」

④ 「中学時代不登校で、就業したくてもできない生徒も少なくない。今年6名が有償で教科書を購入した。なんとか全員に補助できないのか」

熱く語られる各参加者の話題は、目の前の生徒のことでした。定通制高校で学ぶ生徒たちと向き合う会であることを再認識する１日でした。他にも、日本語を母語としない生徒の指導、ユニバーサルデザインの取り組み、夜食費・教科書補助、エアコン他、各分会の取り組みや課題等について意見交流しました。

11月14日（土）、ゆめおす主催 **定通合同学校説明会** が **長崎県庁** で開催されます。昨年度は、参加者が県下全域から来場されていました。多くのブース開設で当事者の選択肢を増やせたらいいですね。